



Title	はじめに
Author(s)	平本, 健太
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 13, 2-2
Issue Date	2024-03-29
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/91680
Type	bulletin (other)
Note	北海道大学大学院経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センター長ご挨拶
File Information	REBN_13_002.pdf



[Instructions for use](#)

はじめに

平本：皆様、ご来場ありがとうございます。今年度の北海道大学大学院経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターのシンポジウムをこれより開催したいと思います。

センター長の平本と申します。本日は、よろしく願いいたします。

本日は、「現代史から考える北海道の産業－新発見の史料とともに－」というタイトルでシンポジウムを開催いたします。

私が今手元に持っているのは、いわゆる道の歴史に関する「北海道現代史 資料編2」という本です。この資料編は、今後3、1という順番で刊行されるということなのですが、今回の資料編2は産業、経済に関わるものでございます。

まず最初に、道史編さん事業の概要等につきまして、北海道庁でこの道史編さん室にいらっしゃる立澤修一さまに、そもそもなぜ北海道がこういう道史の編さんをしているのかということについてお話をいただき、その後「工業」のパートを担当いただいた北海学園大学の板垣暁先生、そして「商業」のパートを担当した本学の満菌勇先生、最後に「交通」のパートを担当いただいた北海学園大学の市川大祐先生に、それぞれ15分ぐらいずつ内容についての講演をいただき、その後にパネルディスカッションとして、上記4名の方に私が加わりまして、この道史編さん事業というもの、それから郷土北海道の歴史をまとめるということの意義、あるいは、歴史が専門ではない参加者の方もたくさんいらっしゃるとしますので、素人目線から見てこういったものがどういう面白味があるのかなどにつきましてディスカッションができればと思っております。

2時間という限られた時間ではございますが、本日はどうかよろしく願い申し上げます。

それでは、早速でございますが、まずは講演のパートといたしまして、最初に「道史編さん事業の概要と経過」というタイトルで編さん室の立澤さまに講演をいただきたいと思っております。

どうぞよろしく願い申し上げます。